



vol. ① 地元大学の魅力

将来の夢を実現させるためには、自分自身を大きく成長させてくれる大学を選ぶことが大切です。岡山県内には個性的なカリキュラムや研究施設を備えた大学・短大がそろい、地元進学なら経済的なメリットもあります。「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの第1回は、特色ある学部・学科、独自の取り組みなど県内大学の魅力を紹介します。

※本特集に掲載しているオープンキャンパスの日程は、今後、変更される可能性もあります。詳しくは各大学のホームページをご確認ください。

企画・制作/山陽新聞社広告本部

岡山県立大学

開学30周年を迎えた自然豊かなキャンパス



岡山県立大学は、保健福祉・情報工学、デザインの3学部を擁する複合大学です。人間・社会・自然の関連性を重視する実学を創造し、地域に貢献することを教育研究の理念に掲げ、1993年に開学。今春、30周年の節目を迎えました。保健福祉学部は健康・医療・福祉・教育の専門知識と技術を修得した人材を、情報工学部は高度情報化を支える技術者を、

開学30周年さらなる飛躍を

未来社会生き抜く人材育成

術者を、デザイン学部は人間・社会・自然の調和を目指すたデザイン創造できる人材の育成を目指します。これらの特長を3学部での高度な実学の専門性を実践力を身に付ける専門教育と、豊かな教養とコミュニケーション力を育む共通教育に加えて、地域・企業との協働で主体的に学びを深める副専攻「吉備の社」を設けています。吉備の社は、各学部での主専攻に加えて修得できる副専攻として、学部から大学院まで一貫した学びの場を提供。地域を知り、地域の課題を理解するための学びから、各学部の専門性を生かした企業との協働、企業が直面している課題の解決に学生が主体的に取り組むプロジェクトまで、地域・企業の現場での実践的な学びで、地域社会で活躍できる力を身に付けます。

アフターコロナに差しかわり、社会構造や私たちのライフスタイルは大きく変わりつつあります。急速に変化する社会に適応できる多角的な視点と柔軟性を兼ね備えた複合型人材を育成しています。開学から30年がたったキャンパスは、大きく育った人々の鮮やかな緑が風に揺れ、自然との調和に満ちた空間になりました。記念事業では、学生会館1階の食堂を、地域の皆さまも心地よく過ごす交流スペースとしてリニューアルすることを計画しています。地域との絆をより深めながら、世界にも通じる地元の拠点としてさらなる飛躍が遂げられるよう、持続的な発展に努めています。



木材の質感を生かし、またかな空間に生まれ変わる学生生活館1階の改装イメージ

Open Campus Schedule

事務局教学課入試班 ☎(0866)94-9163

7月15日(土)・16日(日)

〒719-1197 岡山市区本111
https://www.oka-pu.ac.jp/

本学HPは

こちら▼



山陽新聞社提供

掲載の記事・写真及び、図版の無断転記を禁じます。